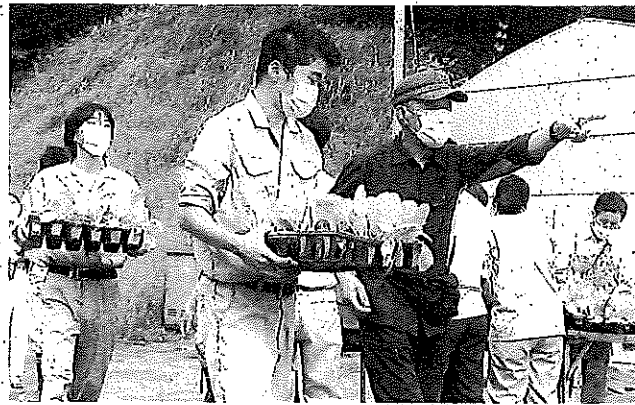


街かど

◆来月2日に山辺高

山添分校で野菜の苗販売 県立山辺高山添分校は9月2日、山添村大西の同校ビルハ

高校生丹精 野菜苗人気 山辺高山添分校で販売会



お客さんが買ってくれた野菜の苗を運ぶ高校生たち。山辺高山添分校

「今日のターゲットはプロッコリや」「キャベツはどこ?」。お客さんたちはうれしそうにビニールハウスに入っていた。山添村が運営する県立山辺高山添分校で2日、野菜苗の販売会が開かれた。山添分校は昼間定時制で4年制。この日は、農業科の27人が種

まきから手がけてきたハクサイ(早生、中生、晩生)、ミニハクサイ、キャベツ、プロッコリ、レタスの7品目、2500ポットの野菜苗が売り出された。価格は市販の約半額の1ポット50円。前夜に村の防災無線で宣伝したこともあり、午前9時の「開店」前に20人ほどが列を作っていた。最初にハウスから出てきた同村春日の中谷節子さん(73)はプロッコリとキャベツを3ポットずつ購入。「私もこの学校の出身なんです。近所やし、生徒さんが頑張ってるのをいつも見えますよ」と話した。1時間もたたないうちに、苗はほぼ売り切れた。3年生の8人が会計や購入後の商品運びを担当した。三重県名張市からバスで通う高木颯真さんは「種まきと水やりが大変でした。こうやって買っていかけてもらえるとうれい。この学校は面白い先生が多くて、いろんな話をしてくれる。来てめっちゃよかったです」と言っていた。(篠原大輔)

ウス前で、昼間定時制の農業科1〜4年生27人が育てたハクサイなど、7品目の野菜の苗約2500本を販売する。ハクサイだけでなく、早生、中生、晩生、ミニハクサイがあり、他はキャベツ、プロッコリ、レタス。販売は午前9時〜午後3時で、1ポットに1本の苗が



○：県立山辺高山添分校(倉田嘉人校長)は2日、山添村大西の同校で、地域の住民を対象に約2500本の野菜の苗を販売した。写真。生徒が生産から販売まで携わり、対面販売を通して接客対応や農業の知識を身につける目的で行っている。

○：苗は、農業科1〜4年生の27人が種から育ててきたハクサイ、キャベツ、プロッコリなど7品目。午前9時から地域の住民ら

が列を作り、販売を担当した3年生7人の生徒から苗を購入。1株50円の苗は開始から30分で、ほぼ完売した。○：小川萌音さん(17)は「接客は緊張したけどたくさんの方が来てくれて驚いた。一生懸命育ててよかった」。藤本悠杜さん(18)は「水やりのタイミングや肥料の量の調整などが大変だった。自分が育てた苗が外に広がって行くのがうれしい」と笑顔で話していた。